

教授
定永 敦司

■ 学歴

1. 2007 年 九州大学大学院医学系学府博士課程 臓器機能医学 修了

■ 学位

1. 2005 年 博士（医学）

■ 研究分野

1. 膠原病とライフイベント
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 膠原病
2. 医師の働き方改革
- 3.

■ 研究課題

1. 膠原病が、ライフイベントに与える影響を中心に考察する。病態、治療内容、通院頻度、医療費などが、就学、就労、結婚、出産、子育てなどに、どのように影響するか考察する。
2. 働き方改革が、医師のワークライフバランスにどのような影響を与えるかについて考察する。
また、女性医師のキャリア形成との関連についても考察する。

■ 担当授業科目

1. 看護形態機能学 I 前期 必須
2. 看護形態機能学 II 後期 必須
3. 疾病学総論 後期 必須
4. 疾病学各論 II 前期 必須
5. 医療と倫理 後期 （看護学科）選択
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ】 情報量が非常に多く、一部、難しい内容もあるが、教科書の内容に加え、実際の症例を提示し、臨床への繋がりを意識できるように工夫した。 毎回小テストを行い、講義の要点を理解してもらえるように工夫した。 国家試験対策として、国家試験の過去問を解く演習を適宜行った。
2.	授業科目名【疾病学総論】 病態が理解しやすいように、看護形態機能学の復習をしながら講義を行った。 疾病学各論で学習する多くの疾患を、「病態別の引き出しに整理する」という意識づけを行った。 教科書に記載がなくても、臨床で重要な疾患については、積極的に解説した。 毎回小テストを行い、講義の要点を理解してもらえるように工夫した。
3.	授業科目名【疾病学各論】 アレルギー、膠原病の代表疾患に加え、重篤な病態についても解説した。 理解にくい分野であるが、実際の症例をたくさん提示し、印象に残るように工夫した。 抗核抗体など、理解にくい検査項目について、実際の画像を提示して説明した。
4.	授業科目名【医療と倫理】 「倫理」、「価値観」、「規範倫理学」など、実感しながら理解できるように、具体例を挙げて解説した。 毎回、倫理的問題を含む医療の話題を提示し、自分で考え、判断したことを、自分の言葉で表現する演習を行った。 「倫理」、「価値観」が人それぞれであることを実感するため、他者の考えを聴く機会を設けた。 臨床現場での倫理問題に気づき、対応する力が身につくように、症例を多く取り入れた。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2000 年	日本内科学会	
2.	2003 年	日本内科学会	
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.	2024 年 4 月	リウマチ膠原病治療薬 処方ガイド	共著	南江堂	リウマチ・膠原病の治療薬について、薬剤の基礎や使用法のコツなど、入門書として、専門医で分担して解説した
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					

2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任期 期間等	会議・委員会等の名称 (内容)	役職名等
--	-----------	--------------------	------

1.	倫理審査委員会 (2024 年 4 月～2 年間)	学内の研究についての倫理審査	委員長
2.			
3.			